

CHECK THE ACTION!

スポーツシーンで、キミにできるアクションをチェックしよう!!

“脱炭素” アクション

- ☐ 試合や練習に行くときは、エコな交通手段※で移動します!
※バス・電車・自転車・徒歩など
- ☐ 水分補給用にマイ水筒、マイタンブラーを持ち歩きます!
- ☐ 試合会場での買い物は、マイバッグで!
わりばしやストロー、プラスチックの食器などなるべく避け、
マイはし、マイカトラリー※などを使います!
※スプーンやフォークなど
- ☐ 試合会場で出したごみは、持ち帰るか、
PETボトル・紙容器などはリサイクル回収に出します!
- ☐ 試合イベント会場のエコブースや、クラブチームのエコな情報も
チェックします!

気候変動に“適応”するアクション

- ☐ 突然の雨や雷にも注意! 空・天気予報や雨雲レーダーも
チェックして安全に運動します!
- ☐ 自分と周りの人が熱中症にならないようにしよう!
練習や試合に行くときは、帽子・水筒・冷涼グッズなどを用意!



※このチラシは、環境省 令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における地球温暖化防止活動促進事業)を活用して作成しました。

※この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。



スポーツ×気候変動 TAKE ACTION for 2050

2050年に向けて行動しよう!

県内プロスポーツクラブをつなぐ脱炭素ネットワーク



脱炭素社会に向けて、県内12スポーツクラブチームが集結!

2024年度現在



清水エスパルス



ジュビロ磐田



藤枝MYFC



アスクラロ沼津



ベルテックス静岡



静岡ブルーレヴズ



アザレア・セブン



静岡SSUポニータ



静岡ジェード



東レアローズ静岡



レバンテフジ静岡



ブレス浜松



発行: 県内プロスポーツクラブをつなぐ脱炭素ネットワーク事務局
(静岡県地球温暖化防止活動推進センター)



気候変動×スポーツ

気候変動ってなに？

気温や雨の降り方など、数十年を超える長い期間続く気候状態の“変化”のこと。
とくに、最近よく言われている「気候変動」という言葉は、「人間活動が原因で生じる気候の変化」を指していることが多いです。

※同じくよく使われている「地球温暖化」という言葉は、人間活動により大気中に放出される温室効果ガスによって、地球が暖められる（地球の平均気温が上がる）“現象”のことです。

近年、猛暑日の増加、集中豪雨等の極端現象が頻発するなど、気候変動の影響の急拡大が問題となっており、私たちの生活にもすでに様々な影響を及ぼしています。
みなさんも、「最近、何かおかしい」と感じられていることがあるかもしれませんね。
一緒に考えてみましょう。



スポーツにも影響!? → たとえばこんな影響が!

◎猛暑により → 練習や試合、部活や運動会などが中止・延期・時間変更になる
(運動している人だけでなく、観客も熱中症に注意が必要)

◎豪雨・雷・土砂災害等により → 練習や試合などの中止・延期

◎雪が降らない・足りない・質が悪いなどにより → ウィンタースポーツの実施困難

このままの状態では、10年、20年後も人類はスポーツを楽しめるのか…!?
楽しみたい・楽しんでほしい! **だから!できることを今すぐはじめよう!**



気候変動の対策、いろいろできる!

大きく分けると対策は2つ。どちらも必要、しかも急ぎ!の対策です。

★原因を少なく【緩和策】

省エネ・節電・節水・ごみ減量・再生可能エネルギー利用など

★影響に備える【適応策】

熱中症対策・気象災害防災(天気予報や雨雲レーダーを見ることも)など

どちらも、今日からできることがたくさんあります!

★スポーツシーンでできること

この冊子の8P(裏表紙)でチェック!

県内プロスポーツクラブをつなぐ脱炭素ネットワーク



本ネットワークは、それぞれのクラブチームが実現可能な脱炭素化ビジョンを持ち、クラブと連携する個人・自治体・関係企業などにもその姿勢・具体的取り組みを示すことにより、県内の脱炭素化への機運を高めることを目的として、競技・リーグの枠を超えて立ち上げられました。

スポーツ界にも脱炭素化の波、到来!

“2050年までに、温室効果ガス排出量を実質ゼロ”に。世界中で対策が始まっています。
つまり、クラブチームももちろんこのゼロ化に向けたアクションが必要になります。
フットワーク軽く、いち早く、走り出そう!

スポーツのチカラ・魅力で“みんな”を動かす!

それぞれのクラブは多くのサポーター・ファン・スポンサーのみなさんとともにあります。
地域とのつながり・注目度や広報・PR力もとても高い! それを生かして静岡の脱炭素アクションに大きなインパクトを!

これまでの主なネットワーク活動

2022 ★初年度、6チームで始動!

(清水エスパルス、ジュビロ磐田、藤枝MYFC、アスクラロ沼津、ベルテックス静岡、静岡ブルーレヴズ)

- ・ワークショップ・勉強会を開催 [年3回]
- ・ネットワーク紹介動画リリース!
- ・全国初の「しずおかプロスポーツ・ゼロカーボン推進宣言」(記者発表) [2023年2月]



2023 ★新たに、5チーム参加!

(アザレア・セブン、静岡SSUポニータ、静岡ジェード、東レアローズ、レバンテフジ静岡)

- ・セミナー兼交流会を開催 [年2回]
- ・共同トライアルアクションとして
3チームの協力により、家庭の雑紙回収実施
[全3回、計663人参加、約1,380kg回収リサイクル]



2024 ★さらに、1チーム追加! (プレス浜松)

- ・セミナー兼交流会を開催 [年2回]
- ・共同トライアルアクションとして
試合会場等にてファン・サポーターの脱炭素アクションチェックを実施
[5回予定]



これから各クラブチーム、そして共同で実施できる「脱炭素アクション」を模索中です。
私たちのこれからの活動を「期待してください!」「見守ってください!」…ではなくて、みなさんもぜひ、ご一緒に!! 静岡のプロスポーツとともに、脱炭素アクションを!!



詳しくは
コチラ!

清水エスパルス



【エスパルスエコチャレンジto2050】

地球にやさしいサッカークラブであるために、また次世代に快適なサッカー環境を引き継いでいくために、エスパルスは2021年に『ゼロカーボンプロスポーツクラブ宣言』を表明しました。

4つのCHALLENGE ①in STADIUM ②with SUPPORTER ③with PARTNER ④OURSELVESを軸に、IAIスタジアム日本平の電力実質100%再生可能エネルギー由来化、行政・企業と連携した環境啓発、次世代を担う子どもたちへのSDGs環境教育プログラム等、様々な活動を年間通じて行っています。



静岡市シェアサイクルPULCLEで移動もエコ!



パルちゃん

取り組みをもっと見る!



アスクラロ沼津



アスクラロ沼津では、ホームゲーム会場で古紙の回収やペットボトルキャップの回収を行っています。

集まった古紙は再生紙となり、ペットボトルキャップは最終的には再生ゴミ袋となって当クラブのホームゲームで使われます。来場いただくみなさんのご協力が、環境負荷低減、脱炭素につながります。

定期開催されるホームゲームを活かして、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



アスルくん

ホームゲームで楽しく脱炭素! 会場で待ってるよ!

取り組みをもっと見る!



ジュビロ磐田



【ヤマハスタジアムで地産地消型CO2フリー電気使用】

2019年3月よりスマートエナジー磐田株式会社の「いわたゼロエミでんき」を採用し、再生可能エネルギーにより発電された地産電源を活用したスタジアム運営を行っています。

【地産地消にこだわった遠州お茶ぱんの開発】

ジュビロ磐田のホームタウンである静岡県西部地域(遠州地域)7市1町の緑茶を使用した缶入りパン「遠州お茶ぱん」には、良質な緑茶には旨み成分であるテアニンが多く含まれ、気分を落ち着かせる効果があることから、災害時の非常食としても活用いただける商品です。



ジュビロくん

僕も毎年、山に登って木を植えています!



取り組みをもっと見る!



ベルテックス静岡



静岡市をホームタウンとして活動する男子プロバスケットボールクラブ「ベルテックス静岡」では、サステナブルの視点より会場で販売しているドリンクカップをオリジナルリユースカップでの利用を促進したり、植物を原料としたストローを使用しプラスチック製品の使用を抑えたり、ホームゲーム会場でペーパータオルの利用を制限するなど、小さなことから脱炭素プロジェクトに取り組んで参りました。

また、試合会場内やイベントで販売しているクラフトコーラやみかんジュースなどの一部の飲食商品では県内産の原材料を使用し、地産地消に努めております。今後も引き続き取り組みの幅を広げていけるよう活動していきたいと思ひます!



ベルティ

みんなの一步が、地球のヒーロー!

取り組みをもっと見る!



藤枝MYFC



藤枝MYFCでは、JリーグとJリーグオフィシャルテクノロジーパートナー・Jリーグ気候アクションパートナーのNTTグループとの協働プロジェクト「THINK THE BALL PROJECT®」※へ他の14クラブとともに参加しています。

※「THINK THE BALL PROJECT」は、NTTグループの持つテクノロジーを用いて、ファン・サポーターや市民が気候アクションに参加しやすく継続しやすいシステムをつくり、Jクラブと各地域に展開することで、人々の環境に関する日常の行動変容を促し、地域活性化を実現するものです。

この度、皆様が「THINK THE BALL PROJECT」へより参加していただけるよう専用アプリの配信が始まりました。これを機会にサッカーを通じて気候アクションに参加し、皆様と日常をシェアしましょう!

魚河岸シャツを着て過ごして冷房を下げ過ぎないようにしています。



蹴っ飛ばし小僧

取り組みをもっと見る!



静岡ブルーレヴズ



2022年11月、静岡ブルーレヴズは、重点テーマとして定めた社会課題の解決に貢献するためのプロジェクト「SCRUM Action」を立ち上げました。

脱炭素社会の実現に向けて、取り組み行っています。昨シーズンはホストゲームの会場にて雑がみ回収の取り組みを実施しました。スタジアムにご来場の多くの方にご協力いただくことができました。

その他、取り組みの詳細は静岡ブルーレヴズの公式HP・SNSをご覧ください。



みんなで力をあわせて脱炭素に取り組もう!



レヴズ

取り組みをもっと見る!



アザレア・セブン



小笠山総合運動公園エコパを拠点に活動している女子のラグビーチームです。運営母体であるアザレア・スポーツクラブはラグビーW杯の静岡開催のレガシーとして設立され、2019年3月にアザレア・セブンが発足しました。クラブ設立時にSDGsに取り組むことも目標に掲げていますので、このネットワークに参加し、脱炭素に向けたアクションにつなげられるよう活動していきます。



内野琴音キャプテン

アザレアでグッズ展開しているエコバックやタンブラーを利用しています!



取り組みをもっと見る!



東レアローズ静岡



東レアローズ静岡は、ホームゲーム会場での「不要紙ハリセン回収」を行っています。会場内の回収ボックス付近には、温暖化防止のための県民運動「ふじのくにCOOLチャレンジ」の温暖化対策アプリ「クルポ」の二次元コードを掲示しています!一緒に脱炭素アクション!チャレンジしましょう。



#10 重藤トビウス超選手(主将)

自転車に乗って脱炭素しています!



取り組みをもっと見る!



静岡SSUボニータ



私たちはチームに関わる全ての人々が幸せになることを願いながら、サッカーで人が動き、繋がり、感動できるクラブを目指し、日々活動を続けています。また、社会に貢献し、地域のシンボルとなれるよう、ステークホルダーの皆さまと一緒に様々な取り組みを進めて参ります。選手ひとりひとりが起こす小さなアクションを脱炭素アクションにも繋げ、将来世代のためチャレンジを続けていきます!



ぼにたん

地元の美味しい特産品を残さず食べて、元気に運動してるよ!



取り組みをもっと見る!



レバンテフジ静岡



レバンテフジ静岡は関連企業・団体と共に様々な脱炭素に向けた取り組みを行なっています。

事例1)レバンテフジ静岡が主催する2歳~8歳の子ども向けランバイクイベント「ランバイクチャレンジ」では、電力供給をEVカーから行なっています。事例2)チーム主催イベントや参加するイベント会場にて、リサイクル用の古紙回収を行なっています。また競技とともに、環境に優しいモビリティとして、自転車の普及と活用の推進も行なっています。



ひゅうた

自転車は究極のエコ乗り物だよ!



取り組みをもっと見る!



静岡ジェード



こんにちは! 卓球Tリーグの静岡ジェードです。静岡ジェードは、これまで廃棄されていた割れた卓球ボール(プラスチック)を回収し、新しく生まれ変わらせます!ぜひ割れたボールは捨てずに静岡ジェードホームゲーム会場の回収ボックスへお持ちください。持参された方には「クルポ」ポイントが付与されます!ご参加お待ちしております!

試合日程はこちら



森園政崇 監督兼選手

割れてしまった卓球ボールを有効活用しよう!



取り組みをもっと見る!



ブレス浜松



2023年度に、オフィシャルパートナー企業である株式会社ユタカ技研様と一緒に『おー川クリーン作戦』に参加し、草刈り・ゴミ拾いを行いました。今後の取り組みとして、地域のみなさまと一緒に静岡県の海岸沿いでビーチクリーンを実施していきたいです。県内のスポーツクラブ合同で実施できたら、なお最高です!



イブちゃん

水分補給はマイボトルを持参してます☆



取り組みをもっと見る!

